

内周遊ルートのパフレットを作成し、外国人観光客の回遊性を高めます。

2020年に外国人宿泊者数10万人の目標を達成するため、受入体制の整備計画を策定します。

城崎国際アートセンターを拠点とする全国・世界のアーティストとの結び付きもさらに強めます。

### 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている (次世代育成)

- ▼子どもたちが豊岡のことをよく知っている
- ▼子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる
- ▼子どもたちの創造の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている

「ローカル&グローバル学習の時間」(ふるさと教育・英語教育・コミュニケーション教育)の実践により、自分のまちに誇りを持ちながら、英語を使って、世界中の人々とコミュニケーションができる子どもたちの育成を目指します。

ふるさと教育では「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通テーマに学びます。

英語教育では、幼児期から中学校まで一貫した教育を進めます。保育園・幼稚園・認定こども園では、英語遊び保育プログラムの完成を目指します。小学校では、現在、市内全校の5・6年生で英語活動に取り組むとともに、小中一貫教育モデル校に外国語指導助手を配置しています。このモデル校を拡大し、カリキュラムの完成を目指すとともに、教員の英語の授業力向上を図るため研修会を実施します。

コミュニケーション教育では、平成29年度から全ての小学校6年生と中学校1年生で、演劇的手法のコミュニケーション教育を展開します。引き続きモデル校で実践を行い、プログラムを検討します。カナダ・ヴィクトリア大学の日本語キャンプに合わせ、子どもたちと学生の交流も始めます。

- ▼子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている

但東中学校が修学旅行で、市のアンテナショップのある東京交通会館で豊岡の魅力の発信、豊岡製品の販売を行う計画を支援します。

多くの子どもで  
にぎやかな家庭を持つ若者が増えている

### 若い夫婦の数が増えている

- ▼多種多様な出会いの機会が充実している
- 社会福祉協議会が実施する婚活応援プロジェ

クト「はーとピー」事業の拡充を支援します。また、企業間の交流婚活イベントや民間団体の自主的な婚活事業への支援等を行います。



- ▼交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している

行政、民間団体等の協働でネットワークを構築し、効果的な対策を展開します。結婚希望者の魅力アップを図るセミナーの開催を支援します。

### 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

- ▼出産を支える仕組みが整っている

早産等を防ぐため、妊婦歯科健康診査を豊岡市歯科医師会の協力で実施します。2回以上連続して流産や死産がある不育症の治療を、県補助制度を受け、かつ県の所得制限を緩和した上で実施します。1年度10万円(上限)の特定不妊治療助成金を、治療1回20万円(上限)に改正します。

- ▼子育てを支える仕組みが整っている

ファミリー・サポート・センター(仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者と、支援を行いたい人の会員組織)の設立準備を行います。平成29年度にセンターを設置し、サービスの提供を開始します。

## 地方創生以外の主な事業

- 中学生以下の子どもに対する医療費助成の拡充

中学生以下の子どもへの通院医療費の助成を拡充します。

小学校3年生以下の乳幼児等医療費助成で、医療機関ごとの通院1回当たりの自己負担限度額を現行の800円から400円に減額します。小学校4年生から中学校3年生までのこども医療費助成事業は、現行の通院自己負担の3分の1助成に加えて、医療機関ごとに1カ月当たり1,600円の自己負担限度額を設けます。

- 旧ごみ処理施設等の解体撤去計画

業務を終了している旧出石・城崎・竹野町のごみ処理施設と豊岡のし尿処理場を、平成28年度から5年間で、順次、解体撤去する予定です。

- 暖冬対策

豊岡市中小企業融資制度を拡充するとともに、兵庫県信用保証協会の信用保証の保証料の一部を補助します。また、早い時期に観光客数を回復させるため、神鍋高原の外国人観光客の誘客対策を講じます。

### 地方創生事業(主なもの)

①暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている②多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている-を5年程度で達成したい状態(戦略目的)に設定し、地方創生事業を推進します。

#### 暮らすなら豊岡と考え、 定住する若者が増えている

豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている  
(情報発信)

##### ▼WEBやSNS等で豊岡の情報が共有されている

移住先として認知され選択肢に加えられるよう、豊岡らしい地域の価値に重点を置き、動画、WEBサイト等を作成し、情報発信します。

##### ▼移住に必要な情報が得られるワンストップ窓口がある

移住意向者の総合窓口を設置します。

また、移住事業の企画立案などの学びの場「トヨオカム塾」を開催。移住者が空き家を購入、賃借する場合、必要な改修費を助成します。先輩移住者の体験談・豊岡の暮らしを知る会や相談会「豊岡暮らしカフェ」(大阪)を開催します。

人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる  
(高付加価値化・成熟化)

##### ▼やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている

豊岡で「外貨」を最も稼いでいる宿泊業とかばん製造業を振興して地域経済の活性化を図り、若者にとって魅力的な職場の創出と発見につながります。

宿泊業では、特にインバウンドで閑散期を埋め、通年雇用の創出につながります。

かばん製造業は、平成26年工業統計で、出荷額が平成22年と比べ47.1%増加。トヨオカ・カバン・アルチザン・スクールや鞆縫製者トレーニングセンターには、全国から受講生が入校。他方、企業は人手不足。そこで、働く可能性の高い若者を調査し、情報発信やインターンシップ(交通費等の一部補助)を実施します。革製かばん・革小物生産能力育成にも取り組み、産業規模と魅力的な仕事の拡大に努めます。

農業では、イタリア、米国、シンガポールで、コウノトリ育むお米のさらなる海外販路を開拓

します。コウノトリ育む農法の新品種試験栽培として、市場価値が高く、良食味米として人気の高い品種「いのちの<sup>いち</sup>菘」の試験栽培に取り組みます。

##### ▼新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている

新規就農者等に対し、独立自営就農に必要な農業用機械等の導入補助、市内へ移住する新規就農者や豊岡農業スクール生への家賃補助を実施します。都市部の若者に豊岡農業を短期間体験する機会を提供し、移住定住・就農につながります。

但馬地域地場産業振興センター(じばさんTAJIMA)で、大規模改修工事を行い、新たにコワーキングとシェアオフィス機能を付加します。

##### ▼自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている

芸術文化事業の連携等で、市民が暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを進めます。文化芸術振興計画の策定作業を進めます(平成29年度策定)。

豊岡で人々が世界と出会っている  
(ローカル&グローバル)

##### ▼世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる

官民共同で豊岡版のDMO(観光地全体のマーケティングを行う組織)を設立します。マーケティング情報を収集・分析し、マーケティング戦略の策定・推進を行います。外国人向け宿泊予約サイトの運営、着地型ツアーの企画販売、外国人富裕層向けの小人数グループ企画旅行などに取り組みます。今年5月ごろ、一般社団法人として設立予定です。



スマートフォンユーザーの位置情報を取得し、観光動態を「見える化」します。このデータを活用し、来訪者の現状を把握し、ターゲットを絞った誘客、周遊促進などに生かします。

昨年の本市の外国人宿泊客数は3万4,318人で、対前年比約2.3倍に増加。情報発信をさらに強化するため、ターゲット市場である欧州・米国・オーストラリアで、プロモーション活動を行います。

豊岡市英語・フランス語版ホームページを活用し、WEB上での販売促進を行うとともに、市